

「ギガキャストを注視」

▽：「下期の見通しは厳しい」とするのは鋳物大手、虹技の山本幹雄社長。

なかった」とする。
▽：下期については「中国は景気回復の兆しが見えない。国内については、鉄鋼メーカー向けのロールや大型鋳物は底堅い。

▽：同社は、自動車用プレス金型鋳物をはじめ工作機械向けの大型鋳物、建機部品などの素材となる連続

遊歩道

製造鉄棒

（デンスバー）を生産。

最近のごみ処理設備や



ているため、ピークより2割程度落ちた現状水準で推移しそうだ。その他の需要分野でも急速に回復するのは難しそう

送風機などの環境事業にも力をだ」とみている。また自動車の入れている。年度上期については「国内はまずまずだったが、現地法人が2社ある中国の業績が良くない。同業他社との競争が激しい上に、不動産ショックなどで景気が悪く需要が振るわ

トで一体成型するギガキャストについて「当社の金型鋳物事業にとってEV化以上に影響が大きいので、動向を注視している」と話す。

